

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

別添資料11

公表: 5年 3月 日

事業所名 いわき生野学園 キャプテンフック 保護者等数(児童数) 18(19) 回収数 17 割合 94%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	14	3				
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	16	1				
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	11	1		5		
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	17				作成前に保護者のニーズを確認していただいています。	ご本人ご家族のニーズに応える事が出来るよう引き続き努めています。
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	16			1		
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	7	4	2	4	コロナ禍で仕方ないと思います。	コロナ禍でも行える事を模索していきます。
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	16	1			契約時に説明していただきました。	分かりやすい説明を心掛けていきます。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	16	1			ノート、送迎時に伝えていただきます。連絡帳やSNSなどを利用して共通理解出来ています。	引き続き、ノート、送迎時、連絡帳やSNSなどを活用し共通理解を行っていきます。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	17				何かあればすぐに提案して下さり助かっています。定期的に面談していただいています。	話しやすい、相談しやすい環境づくりに努めていきます。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	6	4	2	5	コロナ禍で仕方ないと思	コロナ禍でも行える事を模索していきます。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	16			1		
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	16	1			連絡帳やSNSを通じて十分なされていると思います。	コミュニケーション方法については、その場にあった最適な方法で行う事が出来るようにしていきます。
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	17				毎月のお便り、予定表は子どもも家族も楽しみにしています。	手に取る方すべてに楽しんでいただけるようなお便りにしていきます。
14 個人情報に十分注意しているか	15	1		1			
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	15	1		1		
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	16	1				
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	16	1			自由にさせてもらい楽しめていると思います。連絡帳を記入していると「キャプテン」と楽しそうに話しています。	楽しかったと言っていたような場所であるように今後も努めていきます。
	18 事業所の支援に満足しているか	16	1			十分満足しています。	今後もそう言っていただけるように努めていきます。

\*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的な内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

\*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。